

MEX金沢2018（第56回機械工業見本市金沢）開催

～輝け！ 世界につながる モノづくり～

会 期：5月17日(木)～19日(土) 開場時間：10：00～17：00

出展者数：223社・団体 720小間

◆セミナー（会場：石川県産業展示館1号館）

開催日時	演 題	講 師
5月17日(木) 13:30～14:30	自動車技術革新の影響	(一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島正秀氏
5月18日(金) 10:15～11:15	インダストリー4.0を実現する デジタルエンタープライズ	シーメンス(株) 専務執行役員デジタルファクトリー/ プロセス&ドライブ事業本部 事業本部長 島田太郎氏
5月18日(金) 11:30～12:30	工作機械と産業用ロボットの未来 —IoTとAIの最新事例—	ベッコフオートメーション(株) 代表取締役社長 川野俊充氏 ソリューション・アプリケーション・エンジニア 高口順一氏 【共催：日本機械学会北陸信越支部】

*セミナー会場が4号館から1号館へ変更となりました。

◆ワークショップ（製品説明会）（会場：石川県産業展示館3・4号館）

会期中、出展者によるワークショップを開催します。

*セミナー、ワークショップを聴講ご希望の方は、MEX金沢2018ホームページよりお申込み下さい。

◆特別企画「技能五輪選手の技に学ぶ」（会場：石川県産業展示館2号館）

会期中、YKK(株)工機技術本部より技能五輪全国大会敢闘賞受賞選手や初めて女性選手をお招きし、競技職種：フライス盤の実演をしていただきます。選手の作業に臨む態度や動作等を見学して、モノづくり能力向上の機会を提供します。

5月17日(木)、18日(金)・・・高校生対象（一般も可）

【開催時間】①11：00～12：00 ②13：30～14：30（各60分程度）

【実演内容】技能検定2級課題

【出 場】佐渡 栞 選手（第55回技能五輪全国大会出場）

5月19日(土)・・・一般対象（学生も可）

【開催時間】①10：30～12：30 ②13：30～15：30（各2時間程度）

【実演内容】技能五輪全国大会級課題

【出 場】大野 彩人 選手（第55回技能五輪全国大会敢闘賞受賞）

*「技能五輪選手の技に学ぶ」のお申込み等はMEX金沢開催事務局（TEL：076-268-0121）までお問い合わせ下さい。

◆海外バイヤー商談会（会場：石川県産業展示館3号館）

タイ、マレーシア等からバイヤーを招聘し商談会を開催します。

*会期中、石川県産業展示館4号館～3・2号館～1号館～臨時駐車場間をマイクロバス2台が周回いたします。ご利用ください。

協会トピックス

平成30年新年会員懇親会等開催

開催日：平成30年1月25日(木) 会 場：ホテル日航金沢

会員及び来賓の計290名が参加し、「平成30年新年会員懇親会」を開催しました。

菱沼会長の「世界情勢は大きく様変わりして、目が離せない状況にある。一方で我々業界は好調を維持しているが、人手不足が課題であり、引き続き様々な課題にも対応し、業界の益々の飛躍を目指したい」との挨拶で開会し、谷本正憲知事、細田大造金沢副市長、宮田慶一日本銀行金沢支店長、安宅建樹石川県商工会議所連合会会頭から祝辞をいただいた後、米澤賢司県議会議長の発声で乾杯を行い開宴いたしました。

なお、新年会員懇親会に先立ち、「平成29年度第2回理事会」を開催し「平成30年度事業計画等」を決議いたしました。



平成30年度 石川県予算に対する要望

- ◆平成30年1月17日(水)、菱沼会長ほか副会長・役員6名が谷本知事へ平成30年度予算に対する要望を行い、人材確保・育成の支援や海外販路開拓への支援等を求めました。

石川県予算に対する要望

・・・「石川県産業成長戦略」及び「いしかわ創生総合戦略」による実効ある取組み・・・

- 1 産業人材の確保・育成のための支援
 - ① 工業系高校の募集定員の維持
 - ② 県内高校・大学卒業生の県内就職率の向上
 - ③ 学生Uターン・移住等の促進
 - ④ 高度専門人材の確保促進事業の継続
- 2 新規需要の獲得に向けた新製品・新技術開発や販路開拓、新分野展開の支援
 - ① いしかわ次世代産業創造ファンド助成事業の拡充
 - ② 国内販路開拓（受注開拓懇談会、技術提案型展示商談会の開催など）への支援
 - ③ 炭素繊維、医療・介護機器、航空機、環境・エネルギー等分野への継続支援
 - ④ ①人手不足解消と働き方改革対応の鍵となる自動化機器（ロボット等）導入支援
 - ⑤ 新規受注の獲得に向けた販路開拓への支援（青年部会）
- 3 第56回MEX金沢（機械工業見本市）への支援
 - ① ①新産業展示館の機能充実（規模拡大、設備改善）
- 4 東南アジア・中国等海外販路開拓への支援
 - ① タイ、ベトナム、中国での商談会・展示会の開催支援
 - ② ①新タイ・AEC地域における企業ネットワーク形成支援
- 5 金沢港の利用促進への支援



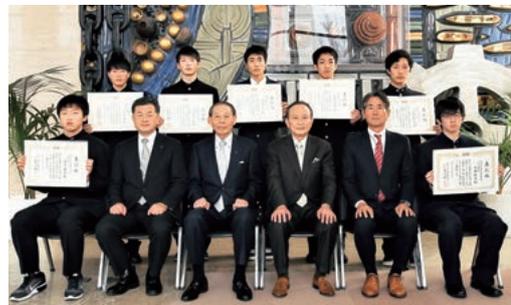
◆平成30年度石川県当初予算（商工労働部関係）の概要

- 1 就職する高校生の県内就職に向けた取り組み（企業ガイダンスの開催）・・・6,900千円
- 2 県内企業でのインターンシップの促進（三大都市圏でのマッチング交流会の開催）・・・3,800千円
- 3 Uターン就職のための活動への支援（保護者向けセミナー、合同企業説明会等）・・・13,000千円
- 4 産業競争力強化に向けた高度専門人材の獲得
（企業の新事業展開等を担うUターン人材の獲得に対する支援）・・・150,000千円
- 5 業務効率化に向けた企業のIoT化の促進・・・5,000千円
- 6 いしかわ次世代産業創造ファンドによる産業成長力強化の取り組み支援・・・200,000千円
- 7 技術提案型展示商談会の開催・・・12,000千円
- 8 東南アジア・中国での商談会及び見本市への出展支援・・・8,000千円
- 9 金沢港の利用促進（コンテナ定期航路の利用促進）・・・5,200千円
- ※ 6月補正予算において「企業の人手不足対策や中小企業の商品開発、販路開拓など踏み込んで実効性がある支援策」の予算が検討されています

工業系高校優良卒業生等表彰式

石川県高等学校工業系学科を優秀な成績で卒業し、県内の鉄工機電業界に就職する優良卒業生を表彰する「工業系高校優良卒業生等表彰式」を2月15日(木)、石川県鉄工会館にて開催しました。（石川県職業能力開発短期大学校は3月16日(金)に開催）

表彰式では菱沼会長から一人一人に表彰状と記念品が授与され、石川県立工業高等学校機械システム科の川嶋和馬君が受賞者を代表してお礼の言葉を述べました。



●受賞者は次のみなさん

学校名	学科	氏名	学校名	学科	氏名
石川県立大聖寺実業高等学校	電子機械科	石橋稜太	石川県立羽咋工業高等学校	電子機械科	茶畑慎太郎
石川県立小松工業高等学校	機械科	道上蒼太	石川県立七尾東雲高等学校	電子機械科	三熊浩基
石川県立工業高等学校	機械システム科	川嶋和馬	石川職業能力開発短期大学校	電子情報技術科	沖野恭彦
金沢市立工業高等学校	機械科	佐野師惟	〃	生産技術科	森田真一郎
石川県立金沢北陵高等学校	総合学科	横場巧巳			

タイ・AECビジネス促進部会発足式等

開催日：平成30年2月5日(月)

会場：ホテルソフィテルバンコクスクンビット (タイ・バンコク)

参加者：70名

内容：①タイ・AECビジネス促進部会発足式

②講演会

講師・演題：GDM (THAILAND) Co.,Ltd.

代表取締役 高尾博紀氏 (タイ・ASEANを知る ～過去から現在そして未来～)

en world Recruitment(Thailand)Co.,Ltd. 下川ゆう氏 (タイの最新の人材市場について)

タイを中心に東南アジアへ進出している会員企業間の情報交換や現地関係団体との経済交流ネットワーク形成のため、部会を設置し発足式等を開催しました。

発足式では、山本洋志国際委員長 (部会長) の開会挨拶後、石川県知事 (代理：石川県商工労働部産業政策課課長補佐 成田満氏) と(株)北國銀行代表取締役専務 杖村修司氏よりご祝辞をいただき、部会参加企業24社を代表して4社 (株)アイデン、かがつう(株)、(株)梶製作所、シシクアドクライス(株)から進出各国の状況をプレゼンテーションしていただきました。また、記念講演会后、タイ工業省・ジェットロバンコク・バンコク銀行等より多数の来賓をお迎えし盛大に懇親会を開催しました。



海外経済視察レポート (タイ・バンコク/マレーシア・クアラルンプール)

開催日：平成30年2月3日(土)～9日(金)

視察先：バンコク

- ・ Thailand Industrial Fair 2018、
- ・ Thai Rung Union Car Public Co.,Ltd、
(タイ・AECビジネス促進部会発足式等)

クアラルンプール

- ・ ジェトロ・クアラルンプール事務所・WTW GLOBAL ENGINEERING SDN.BHD.
- ・ CS YAP GROUP OF COMPANIES・日成ビルド工業(株)立体駐車場

参加者：21名 (団長：山本洋志国際委員長 (アサヒ装設(株)代表取締役))

今回、「TIF2018 出展」「タイ・AECビジネス促進部会発足式」という協会行事の開催に併せてタイ・マレーシアへ経済視察を行いました。マレーシアへの訪問は平成元年以来、約30年振りであり、見学させていただいた機械加工の2社 (社長は華人) は、ともに日本企業との繋がりがあり、日本製の工作機械がずらりと並んでいたのには驚きました。また、日本企業の指導が入るとのことで、品質管理も厳しく、5Sも行き届いており、東南アジア企業の技術力の追い上げを感じました。



Thailand Industrial Fair 2018

開催日：平成30年2月1日(木)～4日(日)

会場：BITEC (タイ・バンコク)

出席者数：275社 来場者数：21,627名

「Food Pack Asia 2018」と同時開催している「Thailand Industrial Fair 2018」に2年ぶり2回目の出展をし、協会ブースには会員企業4社 (アサヒ装設(株)、京町産業車輛(株)、松本機械工業(株)、メカトロ・アソシエーツ(株)) が実機を並べました。

アサヒ装設(株)はオープン、京町産業車輛(株)は攪拌機、松本機械工業(株)はチャック、メカトロ・アソシエーツ(株)はフードハンドリングロボットを展示し、それぞれが来場者の注目を集め、熱心な商談が行われました。



ビジネスサポートスクール

開催日：平成30年2月23日(金)

会場：金沢市ものづくり会館

テーマ：平成30年度国・県の主要事業、各支援機関の取組み・支援策等について

講師・演題

- (1) 平成30年度県予算(商工労働部関係)と経済産業省関連の予算について

石川県商工労働部産業政策課長 中富 大輔 氏

- (2) 中小機構の経営支援施策について

中小機構北陸本部 経営支援課長 早川 光明 氏

- (3) 日本政策金融公庫の経営支援策について

日本政策金融公庫金沢支店

中小企業事業融資課長 笠井 琢磨 氏

- (4) JICAの中小企業海外展開支援について

JICA北陸支部長 仁田 知樹 氏



参加者：40名

石川県の平成30年度の新たな産業振興策等及び、経済産業省関連予算の紹介と各関係機関の取組み・支援策について具体的な説明をいただきました。

医療機器メーカー見学会

開催日：平成30年2月27日(火)

見学先：(株)シャルマン(福井県鯖江市)

参加者：33名

1. 岩堀専務執行役員より、会社沿革・概況、医療機器事業への取組み、経緯、現況について説明を受けた。
2. ショールームにて、眼鏡と医療機器のサンプルを見学。眼科、脳外科、血管外科手術用具を実際に取り、その軽さ、使い勝手の良さ、精密さを体験した。
3. 生産現場では、眼鏡フレーム等部品の荒加工から、精密切削加工、レーザー加工、治工具製作、医療機器の組立、最終仕上げ等の工程を見学した。



(株)シャルマンは眼鏡フレームメーカーの老舗企業であり、培った精密加工の製造技術を医療機関・大学教授のニーズにより外科手術用医療機器に应用、開発し、市場に参入した。医療機器分野に参入して6年経過したが、次々に新製品を上市し、売上も伸びており、産学官連携事業として最たる成功事例の一つである。

環境講演会

開催日：平成30年3月9日(金)

会場：金沢東急ホテル

テーマ：モノに生命が宿る時代のモノづくり ～IoT、エコシステム、環境～

講師：(株)日本総合研究所創発戦略センター シニアマネジャー 井上岳一 氏

参加者：50名

「IoT」は何を変えるのか。キーワードは自然が築いた最も省エネで効率的な「エコシステム」である。モノと情報が融合するIoTは、ムダのない世界を生み出し、環境負荷の低減に役立つため、私たち業界もIoTに積極的に関わることが必要です。

中小企業が新しい分野を目指す際、モノづくり企業は何を考え、何をすればいいのか。そのためには、自らのニッチを見極めて、仲間と共に良い流れをもたらす、新しい生態系を創り出す事が必要であるとのことでした。



DI調査結果 (平成30年1-3月期)

概況総括：『引き続き好調を継続しているが、人材不足が深刻化している。』

【調査概要】

1. 今期（平成30年1-3月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは、「売上高」22.4（前回45.1）「受注単価販売価格」6.4（前回5.6）、「収益状況」9.3（前回19.2）、「資金繰り」8.7（前回12.3）「取引条件」4.2（前回3.2）「操業率」35.2（前回34.3）、「受注残」6.2（前回11.5）「生産設備」26.0（前回27.3）、「来期受注」24.8（前回23.1）、「来期採算」10.3（前回10.5）「来期資金繰り」9.1（前回10.1）の11項目（前回11項目）となった。

2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、

(1) 景況感を端的に表す「売上高」22.4（前回45.1）は3期連続の増加傾向であったが、大雪の影響もあり今期は落ち着いている。

一方、「原材料単価」は▲62.2（前回▲57.0）とさらに上昇している。

(2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」35.2（前回34.3）、「受注残」6.2（前回11.5）「生産設備」26.0（前回27.3）と落ち着きを見せつつも忙しい状況が続いており、残業等での対応が増えている。引き続き人員確保が急務であり、ロボット等による生産設備の自動化・省力化対策が求められる。

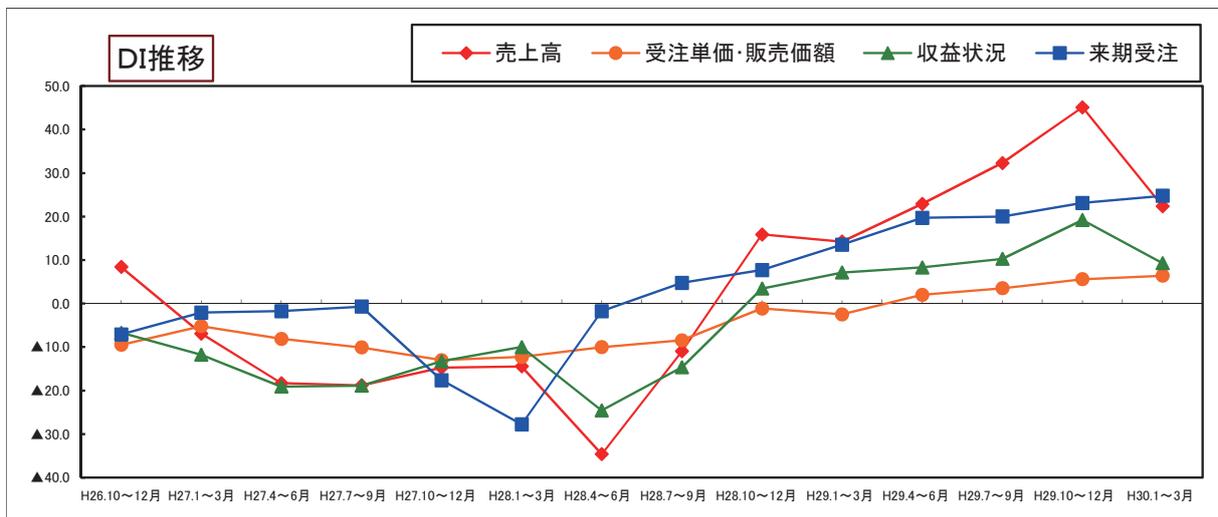
3. 来期については、「来期受注」24.8（前回23.1）、「来期採算」10.3（前回10.5）、「来期資金繰り」9.1（前回10.1）と引き続きの好調さが伺える。

4. 「企業経営上の悩み」については、前回調査で半数以上の企業が答えた「人材不足」が54.5（前回51.2）とさらにポイントを伸ばし、人手不足の深刻化が止まらない状況である。

5. 今回の調査では、大雪の影響もあり一服感があるものの、全ての項目が順調に推移しており、好調を継続している。工作機械や建設機械、半導体関連装置等が牽引している。

しかしながら、人手不足の深刻化が止まらず、現人員の育成を図るとともに、女性や高齢者、外国人実習生等の人手確保やロボット等の自動化・省力化設備の導入などが喫緊の課題となっており、企業業績に影響を及ぼしかねない状況となっている。

来期については、米国による鉄鋼の関税強化など保護主義的な政策の世界経済に及ぼす影響に留意する必要があるが、引き続き好調を継続すると考えられる。



平成30年度 研修スケジュール(予定)のご案内

○きでんスクール

No	開催日	テーマ	受講料	定員
1	4月19日(木)	新人教育(5S活動の基本)	3,000	30
2	4月20日(金)	中堅管理者教育	3,000	30
3	4月27日(金)	組織活性化のための「報・連・相」	3,000	30
4	6月15日(金)	「働き方改革」実現のために	3,000	30
5	7月13日(金)	部下指導に活かすコーチング	3,000	30
6	7月19日(木)～20日(金)	ISO9001 内部品質監査員養成講座	20,000	20
7	8月24日(金)	【新】ムダをなくす在庫管理の進め方	3,000	30
8	9月14日(金)	【新】わかりやすい原価管理と改善	3,000	30
9	10月12日(金)	【新】生産現場への自動化機器導入の考え方	3,000	30
10	11月16日(金)	【新】品質管理	3,000	30
11	11月30日(金)	製造現場で進めるコスト改善	3,000	30
12	12月14日(金)	【新】生産管理	3,000	30
13	1月18日(金)	ムダの発掘と改善	3,000	30
14	2月15日(金)	ヒューマンエラーとポカミス対策	3,000	30
15	3月15日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

○技能継承スクール

No	開催日	テーマ	受講料	定員
1	4月10日(火)～11日(水)	半自動アーク溶接実践技術(各種姿勢編)①	6,000	10
2	4月16日(月)～18日(水)	機械図面の見方①	4,000	30
3	4月26日(木)～27日(金)	TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)①	7,500	10
4	6月6日(水)～8日(金)	アーク溶接の基礎	10,000	10
5	6月12日(火)～13日(水)	【新】製造現場におけるLAN活用技術(IoT活用編)	5,000	10
6	6月18日(月)～20日(水)	機械図面の見方②	4,000	30
7	7月3日(火)～4日(水)	精密測定技術(長さ測定編)	4,500	12
8	7月10日(火)～11日(水)	生産現場で使う品質管理技法(Excelで学ぶQC)	3,000	15
9	7月10日(火)～11日(水)	TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)②	7,500	10
10	7月24日(火)～25日(水)	半自動アーク溶接実践技術(各種姿勢編)②	6,000	10
11	7月25日(水)～27日(金)	有接点シーケンス制御の実践技術	4,500	10
12	8月21日(火)～24日(金)	フライス盤加工技術(エンドミル編)	6,000	10
13	8月22日(水)～24日(金)	有接点シーケンスによる電動機制御の実務	5,500	10
14	8月28日(火)～31日(金)	旋盤加工実践技術(トラブル防止編)	5,500	12
15	9月11日(火)～14日(金)	旋盤の高精度加工技術	6,000	12
16	9月26日(水)～28日(金)	ドリル研削実践技術	6,000	10
17	10月23日(火)～24日(水)	生産現場の計測器管理実践	4,000	10
18	11月14日(水)～16日(金)	機械加工部品の測定・検査技術	5,000	12

※ホームページでもご覧いただけます。

URL : <http://www.tekkokiden.or.jp>

青年部会だより

「次世代経営者人材育成講座」では
1月30日(火)に(株)能作を訪問し、代表取締役 能作克治 氏に「地域と共に生きる」と題し講演いただきました。

「企業間連携による一貫生産体制の構築」事業では
2月15日(木)～17日(土)に山口・福岡視察を行い、蒲鉾製造のフジミツ(株)、トヨタ自動車九州(株)、(株)安川電機を見学し、フジミツ(株)で製造工程における自動・省力化装置の相談を持ち掛けられ、来年度に向けての準備となる良い機会となりました。

なお、長門市のご協力で中小企業庁事業環境部財務課長の菊川人吾 氏に補助金制度についてもお話をいただきました。

また、2月19日(月)、20日(火)には伊藤忠マシンテクノス(株)の担当者にお越しいたごき、食品機械製造に向けて会員企業4社を見学いただき、製品化に向けての可能性を探りました。



i 会員情報

◆新会員の紹介 平成30年1月25日開催の理事会にて承認された会員企業を掲載しています。

社名	代表者名	住所	業種	TEL/FAX
シバパッケージングシステム(株) 澁谷光利		金沢市河原市町2	生活関連産業用機械製造業	076-256-5500/076-256-5510
(株)ノガミコーポレーション 野上兵一		金沢市藤江北2-75-1	化学製品卸売業	076-268-2231/076-268-8147
(株)吉岡機販 吉岡末男		金沢市打木町東366	産業機械器具卸売業	076-249-7470/076-249-1025
(株)リュウケン機工 大西隆行		金沢市東蚊爪町1-28-7	一般産業用機械・装置製造業	076-218-7771/076-218-7866

◆代表者の変更

社名	新代表者名	社名	新代表者名
(株)エリオ	佐野晃一	高松機械工業(株)	高松宗一郎
(株)ソディック加賀事業所	大迫健一	(株)P F U	半田 清
(株)マインシステム	収納義人		

◆住所の変更

社名	新住所	TEL/FAX
(株)ヤスジマ	白山市矢頃島町1001-1	076-275-7558/076-275-7226

平成30年度 協会スケジュール

開催日	内容
会 議	
5月19日(土)	見本市委員会
5月30日(火)	広報・情報委員会
6月20日(火)	正副会長会議・理事会・平成30年度通常総会
7月18日(火)	国際委員会
行 事	
5月17日(木)～19日(土)	MEX金沢2018(第55回機械工業見本市金沢)
6月22日(金)	タイ・AECビジネス促進部会(タイ・バンコク)
7月18日(火)	国際講演会「トランプ政権2年目の評価と今後の見通し(仮題)」